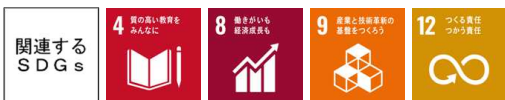


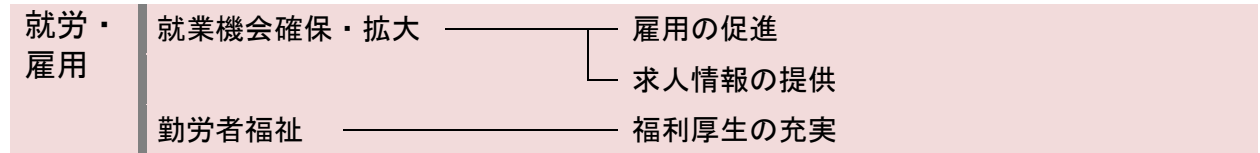
第7節 就労・雇用



現況と課題

- ◆ 経済情勢の変動が雇用需要に直結しており、瞬発的な求人の減少はあるものの、全体として需要は伸びています。しかし、一方で、労使間で需給が噛み合わない部分も顕在化していること、また、少子高齢化の影響や若い世代の進学率の向上、その後の就職先の都市圏への集中等により、若い世代の流出が進み、結果的に地域の産業の担い手の減少につながっています。
- ◆ 中小企業単独では取り組めない福利厚生制度を確保し、企業間格差を少なくするため、勤労者共済会を設置、支援を行うことで、勤労者のみならずその家族の福利厚生の充実を図っています。この参加事業所数は横ばいで推移していることから、事業の周知による活用拡大に努める必要があります。

施策の体系



●シルバー人材センター活動の様子



(1) 就業機会確保・拡大

①雇用の促進

地域の労働需要に応えるため、関係機関と連携し、市内出身者や移住希望者に対して本市の子育て制度や周辺地域の雇用情報、空き物件などへの入居関連施策等をまとめて発信し、地域産業の担い手確保につなげます。また、高校生までに地元に戻ってくる選択肢を考えてもらう機会を関係機関と連携して提供します。さらに、地元企業とシルバー人材センターとの連携により、労働意欲のある高齢者の雇用拡大を目指します。

②求人情報の提供

ハローワークと連携し、市内や周辺地域での求人情報の積極的な提供に努めます。また、就職ガイダンス等を積極的に開催するとともに、関係機関が実施する就職相談などの情報提供に努めます。

(2) 勤労者福祉

①福利厚生の充実

中小企業・小規模企業に対して勤労者共済会への加盟を奨励するなどにより、中小企業・小規模企業における勤労者の福利厚生を充実を促進します。

●就職セミナー

